



平成27年1月1日から新しい難病の制度が始まります！

これまでと異なる主な点は、対象疾患の拡大、月額自己負担限度額・算定方法の変更、指定医療機関・指定医の指定申請が必要となることです。



対象疾患について

- ・ 新たな制度では、対象疾患は「指定難病」110疾患に拡大されます。
- ・ 平成27年夏ごろには、約300疾患に増える予定です。

月額自己負担限度額等について

- ・ 受診した複数の医療機関等の自己負担をすべて合算した上で、負担上限額が適用されます。（下記参照） ※受診や訪問の際、受給者証裏面の自己負担上限管理票に記載をお願いします。

☆新たな医療費助成における自己負担限度額(月額) (単位:円)

階層区分	階層区分の基準 ()内の数字は、夫婦2人世帯の場合における年収の目安		患者負担割合:2割					
			自己負担限度額(外来+入院)					
			原則			既認定者(経過措置3年間)		
			一般	高額かつ長期(※)	人工呼吸器等装着者	一般	現行の重症患者	人工呼吸器等装着者
生活保護	—		0	0	0	0	0	0
低所得Ⅰ	市町村民税非課税(世帯)	本人年収~80万円	2,500	2,500	1,000	2,500	2,500	1,000
低所得Ⅱ		本人年収80万円超~	5,000	5,000		5,000		
一般所得Ⅰ	市町村民税課税以上約7.1万円未満(約160万円~約370万円)		10,000	5,000	1,000	5,000	5,000	1,000
一般所得Ⅱ	市町村民税約7.1万円以上約25.1万円未満(約370万円~約810万円)		20,000	10,000		10,000		
上位所得	市町村民税約25.1万円以上(約810万円~)		30,000	20,000		20,000		
入院時の食費			全額自己負担			1/2自己負担		

指定医療機関および指定医の指定について

- ・ 新制度では、知事の指定を受けた医療機関等（指定医療機関）が行う医療に限り、難病患者の方が医療費助成を受けることができます。
- ・ また、知事の定める医師（指定医）の作成した診断書（臨床調査個人票）を添えて、医療費助成の申請をする必要があります。
⇒医療機関、医師とも指定の申請が必要となります！

■ 平成26年度 第1・2回「難病研修会」報告

難病支援センターでは、毎年、難病関係機関の職員を対象に研修会を実施しています。

第1回目

内容紹介

月 日：平成26年6月21日（土）
参加者：110名
内 容：多系統萎縮症患者の在宅介護の
1事例を通して
～コミュニケーション機器と介護
用具の工夫～

タブレット PC やスマートフォン等を利用したコミュニケーションの工夫により、意思疎通が困難な神経難病患者の QOL の向上につながったという事例の紹介がありました。今回、工業系大学院生の協力も得ることで、様々なコミュニケーションツールについても知ることができました。医療職だけではなく、垣根を越えたネットワーク作りをすることが大切であると感じました。参加者からは、大変参考になったとの感想をいただきました。

第2回目

内容紹介

月 日：平成26年7月5日（土）
参加者：56名
内 容：重症難病患者の災害時支援
について
～京都府丹後保健所における取組
みから～

地震、豪雨等の自然災害が多発しており、全国各地で災害時要援護者の支援体制の検討が進められています。今回は、先進地域における災害時支援の取組みについてお話していただきました。当県でも人工呼吸器等を装着した難病患者さんの個別支援マニュアル作りに取り組んでおり、参考になることがたくさんありました。自助・共助を災害時の基本としつつも、よりよい支援方法を関係者と共に考えていきたいと思えます。

～26年度 第3回 難病研修会のご案内～

月 日：平成27年2月頃開催の予定

テーマ：「難病の新制度について」 講師：県の難病担当者

定例相談

(平成27年度)

*現時点で決定されている相談会は6月のみです。
他の日程は4月に決定します。お問い合わせ下さい。

毎月第2木曜日 13:00～16:00

専門医師による医療相談、薬剤師、理学療法士、栄養士等の専門職員による療養生活相談を受けられます。予約による個別相談です。電話、FAX、メール等で、お気軽にお申し込み下さい。

月 日	対象疾患	担当医療機関	専門医師		会場	主な病名
			専門職員			
6月15日 (木)	視覚系	福井大学医学部 附属病院	眼科	稲谷 大先生	難病支援 センター	網膜色素変性症 難治性視神経症等

あ・と・が・き

難病支援センターは、一人でも多くの方が安定した療養生活を送ることができるよう支援していきたいと思っています。来年度も、皆様の心のホットステーションになれるよう努めてまいります。

